



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第176号 2016年11月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成28年10月25日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139  
http://www.sano-k.net/  
info@sano-k.net

## ヒートショック

季節外れの暖かさが続きますが、これからだんだんと寒さが増してきます。冬場は暖房がきいた暖かい部屋から寒い戸外やトイレ、浴室などへの移動時に、温度差が大きいと、血圧が急上昇したり、急降下したりするリスクがあります。自宅や温泉で入浴中に意識を失うといった入浴事故が増加傾向にあるようです。家庭内で高齢者が死亡する原因の1/4を占めるといわれています。実に交通事故の2倍の死亡数というデータもあります。

浴室の場合は、入浴前に5分程度シャワーを先に出して、湯気で浴室と脱衣室を暖めて温度差を減らし、あまり熱くない40℃までの湯に入り、入浴は1回5分程度にすることを心がけるだけでもある程度の予防ができるようです。



## ショールーム

リフォームをする場合、設備機器メーカー選びも頭を悩ませる問題です。リフォーム会社を比較検討するあるサイトで、システムキッチンを利用している女性1,000人を対象に実施したアンケートによりますと、現在使用しているシステムキッチンの総合的な満足度は、僅差ながら上位からL社、P社、C社、T社、T社の順になったそうです。各メーカーにはデザイン、機能性、収納能力など、それぞれの特長がありますので、各メーカーのショールームを活用し、お好みにあったタイプの商品をお選びいただくことをおすすめします。（参考・新建ハウジング）

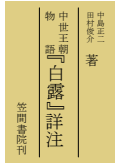


皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます  
創業 1960.1.20. **Next50**  
創刊 2002.4.1.

## よこすか文学館

中古、中世の物語文学を中心に研究されている中島正二氏に、歴史、小説、映画などジャンルを越えて「よこすか」が舞台となった芸術作品を紹介していただきます。

（すまい造りメール第77号参照）



### 第十一話 山口百恵「蒼い時」

横須賀ゆかりの芸能人といえば、山口百恵。彼女が活動したのは、昭和48年（1973）から昭和55年（1980）で、21歳の若さでの引退でした。引退直前、集英社から刊行された自伝的エッセー集が『蒼い時』です。彼女の代表的なヒット曲に「横須賀ストーリー」があることでも象徴されるように、横須賀は彼女にとって特別な地であり、この本は「序章 横須賀」で始まります。「…私はあの街で生まれたわけではない。小学校2年の終わりから中学2年の終わりまで、6年間を過ごしただけなのに、この想いは一体、何なのだろう。…私の原点は、あの街——横須賀。」その他、特異な生い立ちや芸能活動、結婚、引退に関するなどが語られています。



横須賀中央公園からの眺め

〔洗足学園中学高校教諭 中島正二〕

介護保険住宅制度を利用した住宅改修工事を担当させていただいたお住まいをご紹介します。

マンションの手すりの設置工事です。居間から台所、トイレ、浴室へと移動する時に体を安定させるために滑りにくい手すりを設置しました。「ちょっとしたことですが、大分楽になりました。」というご感想をいただきました。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

手すりを設置するに当たって、部屋の入口部分や段差のある壁付近に、体を支えるために普段手をつけていると思われる場所がわずかに色が変わっていたり、手のあとが付いている場合があります。そのポイントを見逃さず、手すりを設置するようにしましょう。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピアノ、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



## 横須賀製鉄所物語（箱崎の掘割）〈29〉

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話しを伺いました。

横須賀製鉄所へのアクセスの中心は、陸路よりも海上交通が中心に行われていました。しかし、この海上交通について博物館の『横須賀市内近代遺産総合専門調査報告書』によれば、「当時（明治以前）箱崎沖は難所であったため、公郷名主永島庄兵衛が私財を投じて掘割を開削し、安政元年に完成した、全長375m、海底幅10.8m 深さ3.6mであった。この掘割は、現在埋め立てられている」と記され、海上交通安全のためこうした措置がとられました。そして、現在は大変人気の高い「軍港めぐり」で現在のイオン前（旧ダイエー）から出港し横須賀港をめぐり長浦港に進入し「新掘割」を通過して帰港します。この新掘割が永島氏の建設した掘割を埋め立てた後に建設されたものです。永島氏の掘割は新掘割よりも東側の東京湾に近い位置にありました。

この掘割は当時としては、海上交通のために大変重要な施設となっていました。そして、この掘割について赤堀直忠氏は『横須賀木土史の中の二』において「横須賀湾と長浦湾との間にある半島を箱崎半島と呼ぶ。この半島の基部（吾妻山の西南）両湾を通ずる掘割がある。この掘割は新掘割と呼ばれるもので、明治17年船越に水雷營が設置されるやこれとの便をはかるために長浦湾と横須賀湾とを通せんとして海軍省が開鑿したものである」と記しています。この掘割は軍港クルーズで通過するとき先人たちの偉業に深い感銘を受けるものです。さらに同書において「この掘割が新掘割と呼ばれるのに対して吾妻山の東部にさらに一掘割が存したものであるが現在は埋められている。箱崎半島の沖は風浪が荒らく昔時は之を通る船舶がしばしば危難に遭ったので三浦郡公郷村名主永島庄兵衛が自費を以つて半島を掘割り以て海上交通の便をはかったものである」としています。そして、工事について着工の時期は不明であるが、完成したのは1854年(安政元) 10月で役人の見分を受けたと記しています。工事に要した費用は850両余りとされています。

このように横須賀製鉄所を影から支えているものもあるのです。

（元横須賀市助役 井上吉隆）



①横須賀港上空から

②掘割

③汐入棧橋（軍港めぐり）

## ARSENAL D' IOKOSKA

11月5日(土)・6日(日)に三笠公園で開催される「よこすか産業まつり」にペーパークラフト教室「みんなde街づくり」を出展します。歴史を活かした街づくりというテーマで、鋳入れ式から150周年を迎えた横須賀製鉄所を模した「ARSENAL D' IOKOSKA」にサイコロキャラメル空き箱を使い、自分でデザインした住まいを配置して、みんなが住みやすいように、街づくりを体験していただきます。

今年もスタンプラリーや特別賞などいろいろなアクションや賞品をご用意しています。さらに、リクエストにお応えして、過去7年に亘る皆様の作品を収めた映像をブース内で上映します。是非、お立ち寄りいただき、あなたがデザインした住まいをご鑑賞ください。



YONAS PICTURES

上映スケジュール ①10:00～ ②11:30～ ③13:00～ ④14:30～

### 「Episode8」いよいよスタート!



### ARSENAL D' IOKOSKA

### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2016」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索